

◆有田工業高校の特徴や誇れるもの

有田工業高校は今年で開校125年目となる伝統校です。定時制課程は昭和39年に設置され、令和6年に創立60周年を迎えました。卒業生は1,330人（令和7年度3月時点）です。また、社会人を対象とした聴講生制度を有し、意欲ある社会人の方々の学びの場ともなっています。本校が立地する有田町は、古くからやきものの町として世界的に有名で、毎年5月に行われる『有田陶器市』には、100万人を超える観光客が訪れます。

◆地域奉仕活動

5月の有田陶器市後に、日頃お世話になっている地域への感謝の気持ちを込め、学校近辺の清掃活動を行っています。



◆開校記念行事

5月に開校記念行事として講演会を実施しています。今年度は有田ケーブル・ネットワーク（株）草場卓人氏を招き「自分にあう」というテーマで「地元で働く喜び」などのお話していただきました。



◆聴講生制度

地域産業技術者の技術向上のため、窯業コースはろくろ成形の技術習得、デザインコースは最先端の知識・技能の習得を目指しています。身につけた技術で地域産業の発展に貢献しています。



学校所在地：西松浦郡有田町桑古場乙2902番地

連絡先：0955-42-3136

生徒数：37名（令和7年度2月現在）

◆ミヤザキケンスケ氏との合同作品を展示しました

昨年度「定時制創立60周年記念行事」において、国内外で活躍されている佐賀県出身のアーティスト・ミヤザキケンスケ氏と本校生徒との交流を通じて、合同制作作品の企画が実現し、定時制全体で取り組みました。作品は縦0.9メートル、横5.4メートルの大きさで、本校の校舎や有田町内の名所などを色鮮やかな色使いで描いています。現在は定時制生徒昇降口に展示しており、生徒たちの登下校を見守る定時制のシンボルとなっています。



定時制生徒昇降口展示風景

学校の誇れるものの紹介



卒業制作展



課題研究発表会